

「農業用温室の設置コスト低減に向けた技術提案会」 提案資料

提案者名: サンキンB&G株式会社 歌房 裕士

問い合わせ先 電話: 06-6539-3281

メールアドレス: nougei@sankin.co.jp

提案事項: コンクリートを使わずに、柱材との接合も容易なタッピングパイル基礎工法

タッピングパイル基礎工法



柱との接合部に調整機能を持たせ、縦横高さの微調整が可能です。

豪雪地区や軟弱地盤の対策として、沈下防止対策も充実しています。



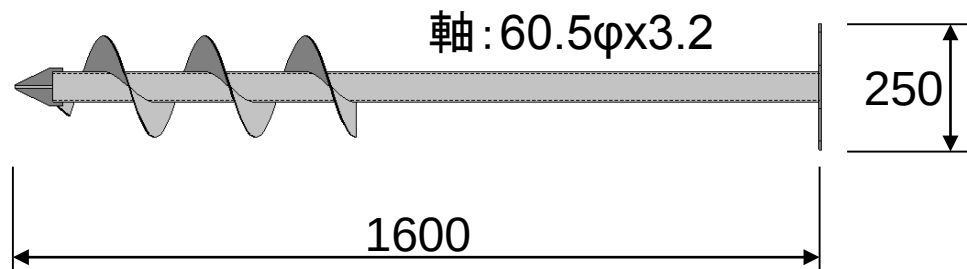
沈下防止金具を
取り付けることで
圧縮（沈下）強度がぐわし
豪雪地区・軟弱地盤でも対応可能

期待される効果

1. 工期短縮 1/4
2. 材料費軽減 3/4
3. 天候に影響されにくい
4. 撤去後再資源化しやすい

10a当たりの導入コスト 現状 182万円 → 目標 118.3万円（35%減）

コンクリートを使わない農業用温室の基礎導入による工期短縮による低コスト化技術



- ① 基礎となる鋼管杭を規格化して工場生産
- ② 新たな工法による基礎の施工日数の短縮

① 基礎となる鋼管杭を規格化して工場生産

工場での統一規格部材導入により低コスト化を図る

また、規格化による在庫管理を行う事で現場納入時期を短縮して低コスト化を実現

② 新たな工法による基礎の施工日数の短縮

基礎工事で必要な、掘削工事、型枠工事が不要で直接杭を打ち込むことで基礎となるため工期を短縮できる。
養生期間も不要なため設置後すぐに建て方を行える。

①～②の組み合わせにより

